（様式－３）

送 電 線 工 事 災 害 報 告 書 （再発防止対策書）

関東支部

発生日時	令和４年８月29日（月曜日）　９時50分頃							天　候	晴れ	
災害の程度	死亡－名	負傷１名	職種：架線作業員					年令62歳	経験年数45年	
工事の種類	調査測量	伐　採	運　搬	仮　設	基　礎	組　立	足　場	架　線	撤　去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原　　因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			
設　　備	電圧　kV	回線	電線　－　㎜^{2}　単導体			地線　－　㎜^{2}　条				

災害の状況	件名：鉄塔上部作業中，工具袋が地上に落下し中身の工具が飛び出して地上作業員にあたり負傷 被災者(玉掛者)は地上で延線用工具類を玉掛けし，鉄塔腕金部（地上40m付近）へ荷揚げ作業を実施した。塔上で吊荷を通いロープから鉄塔へ移し替える際，吊荷の間に挟まっていた(想定)圧縮工具(以下,ダイス)入りの巾着式工具袋が落下した。落下した工具袋は，鉄塔部材に二度当たり地上に落ちた後，工具袋からダイス[3kg]が飛び出て，被災者の右手に当たり負傷した。(上部作業員が「落ちた！」と叫んだが，被災者は聞こえていなかった) ［被災程度］右手橈骨開放骨折，右手中指付け根骨折 ［装　　備］作業服上下，安全帽，安全靴，安全帯(胴ベルトのみ)
原因及び対策	1.災害発生の主原因 (1)作業班長は，乱雑に置かれた工具類置場の整理整頓の指示を怠った。 (2)玉掛者は，乱雑に置かれた工具類置場で，荷揚げする工具類を拾い集めながら玉掛けしたため，荷揚げ予定外のダイス入り工具袋が挟まっていることに気付かなかった。 (3)玉掛者は，玉掛けし地切りした時点で吊荷全体の状況確認を怠った。 2.再発防止対策 (1)作業班長は，現場内の整理整頓を適宜指示する。 (2)玉掛者は，工具類が置かれていない箇所に一定面積の荷揚げ場を設け，一つずつ持ち込み玉掛けする。 (3)玉掛者（及びウィンチ操作者）は，玉掛けし地切りした時点で，吊荷全体の状況（フックの掛け損じ，工具袋の巾着締め，荷揚げしない物品の引っ掛かり等）を確認する。［吊り荷よし！］

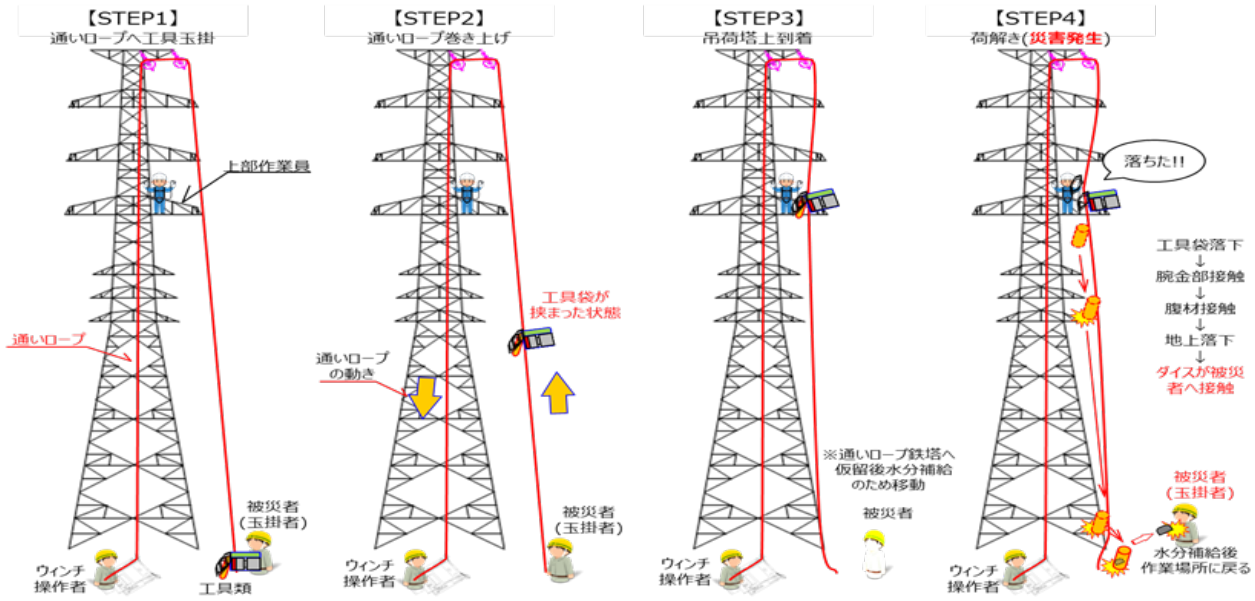
（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし，「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

2.災害状況の説明と共に，なるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物，電線の離隔距離その他寸法を記入する。

災　害　概　要　図

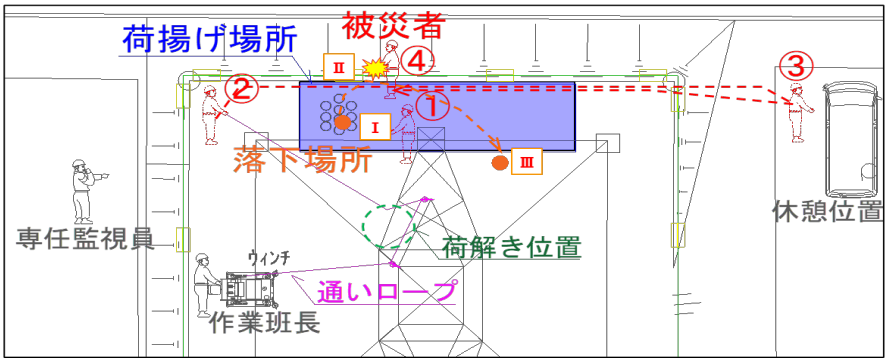
（様式－２）

災害発生までの流れ



災害発生状況

1.前日までに，荷揚げ予定の工具を荷揚げ場所へ配置(シートで養生)したが，当日夜が雨予報だったため作業予定を変更した。その際，当初荷揚げ予定だった工具の一部は翌日に荷揚げをすることとしたが，仕分けが不十分なまま荷揚げ作業に取りかかった。
2.被災者は①にて延線用工具類の玉掛けを実施し，②で地上40m付近の鉄塔腕金部へ荷揚げした。
3.鉄塔腕金部へ荷揚げ後，被災者は水分補給のため，③へ移動した。
4.鉄塔腕金部で荷解きをしている時，吊荷の間に挟まっていた(想定)ダイス入りの巾着式工具袋が落下した。
(当該工具袋は当日荷揚げ予定から変更したもので，巾着は締めていない状態)
5.鉄塔部材に二度当たり地上に落ちた後，工具袋からダイスが飛び出て，④にいた被災者の右手に当たり負傷した。
(被災者は，次の荷揚げ準備のため移動中)



落下したダイス

ダイスの落下経路
Ⅰ荷揚げ場所(地上)
Ⅱ被災者右手へ当たる
Ⅲ鉄塔敷地内へ
凡例；●

吊荷の状態(再現)

吊荷に挟まった状態(推定)

＜玉掛け順序＞
①エンジン
②接地用具
③二重防護ワイヤ
④二輪金車
⑤がいしマット

当日の作業変更で
荷揚げしない工具
を置いた場所

落下時の状況

荷揚げ場にあった荷揚げ予定の工具の上に落下後，
片側のダイス(3kg)が飛び出した

巾着式工具袋
＜災害発生時＞

荷揚げ予定外の為
巾着を締めてない

＜本来荷吊時＞